

特別功労表彰

氏 名 (敬称略)	後藤 一彦 ごとう かずひこ
役 職 等	別府市軟式野球連盟 会長 大分県軟式野球連盟 会長
功 績 内 容	昭和54年に別府市軟式野球連盟理事に就任。副理事長、理事長を歴任し現在は会長として役員を統率し、各種事業の企画・調整・大会運営を行っている。その傍ら、一般クラブチーム「萬洋クラブ」の監督を務めている。また、野球後進国へ継続した野球道具を送る活動を長年続けられており、学童野球や女子野球の普及・技術向上にも力を入れている。低学年を対象としたオレンジボール大会の立ち上げ、学童対象のキャッチボール大会の開催、女子学童チーム、女子中学生チームの活動支援など常に野球の新しい可能性を追求し、競技人口の維持・増加に多大な貢献をされている。

氏 名 (敬称略)	大藪 久憲 おおやぶ ひさのり
役 職 等	別府市医師会 議長
功 績 内 容	長年にわたり、専門の外科のほか、地域のかかりつけ医として市民の健康管理、治療等に献身的に奉仕され、地域住民の厚い信頼を受けている。現在は議長の立場から医師会執行部と会員間の融和・親睦、後進の育成・指導に尽力されている。理事在職時は、別府市保健センター（湯のまちけんこうパーク）の開設に向けて担当理事として中心的役割を担い、市、歯科医師会、薬剤師会との連携を強化し、医師会活動を通して本市の保健行政に積極的に関与された。保健センター開設後も、市民への健康教育や健診・検査に対する理解と認識の向上を図るなど、市の地域保健活動、市民の健康づくりに多大な貢献をされている。

氏 名 (敬称略)	飯田 博万 い い だ ひろかず
役 職 等	元別府市歯科医師会 副議長
功 績 内 容	平成9年から平成14年まで保険理事を担当。平成15年から平成17年まで専務理事を担当し、平成15年6月に「第52回 母と子のよい歯のコンクール」と「第11回 高齢者のよい歯のコンクール」を開催した。また、平成16年2月、平成17年2月には地域歯科保健研修会「フッ素がいいのは、なしか」と題し、幼稚園でのフッ化物洗口の取組についての講演会を開催した。同年3月には、地域保健研修会、親子歯科保健学習 講演「フッ素がいいのは、なしか」を講演し、フッ化物の重要性を呼び掛けた。平成18年3月には、地域歯科保健事業として、講話「乳幼児の口腔ケア」を開催し、別府市民の歯科治療及び歯科保健の普及啓発を行った。地域住民に対する歯科治療や学校歯科保健活動、歯科保健公衆衛生の普及向上に多大な貢献をされている。

特別功労表彰

氏 名 (敬称略)	むかい 向 かつひこ 功彦
役 職 等	全日本竹産業連合会 副会長
功 績 内 容	平成16年から10年にわたり別府竹製品卸商業組合理事長を務め、職人の育成に尽力し、竹工芸技術の継承と人材育成に寄与された。また、全日本竹産業連合会主催の「全国竹の大会」への参加や「竹・ルネサンス実行委員会」委員としての活動を通じ、県内外の関連団体と積極的に連携を図るなど、別府と全国の産地との交流促進や竹製品のブランド価値向上、地域産業の振興に多大な貢献をされている。

氏 名 (敬称略)	やまなか 山中 まさゆき 正之
役 職 等	九丁目の八ちょう目（八ちょう目酒場） 代表
功 績 内 容	経営するおでん屋「九丁目の八ちょう目」に来店されるお客様から、店内に設置している「愛のひとしずく募金」のビンに入れていただいた募金と、お店の売り上げの一部を地域福祉のため、別府市社会福祉協議会へ寄付している。寄付は昭和53年から毎年行っており、令和6年12月現在で46回を数え、別府市の福祉団体等へ寄付された金額は累計で4,869,714円となり、地域福祉に対し多大な貢献をされている。

功労表彰

自治部門（１１名）

（敬称略・順不同）

氏 名	功 績 内 容
伊藤 博文 いとう ひろふみ	8年にわたり、別府市選挙管理委員会委員として市議会議員、市長選挙及び県、国政選挙に関する管理に携わり、公明かつ適正な選挙と選挙人の政治常識の向上に努められた。また、平成28年から4年にわたり、別府市選挙管理委員会委員長としての職務を担い、市内における選挙の推進に尽力された。
久保 恭友 くほ みつとも	8年にわたり、別府市選挙管理委員会委員として市議会議員、市長選挙及び県、国政選挙に関する管理に携わり、公明かつ適正な選挙と選挙人の政治常識の向上に努められた。また、令和2年から4年にわたり、別府市選挙管理委員会委員長としての職務を担い、市内における選挙の推進に尽力された。
一万田 尚子 いちまんだ なおこ	8年にわたり、別府市選挙管理委員会委員として市議会議員、市長選挙及び県、国政選挙に関する管理に携わり、公明かつ適正な選挙と選挙人の政治常識の向上に努められた。令和2年から4年にわたり、別府市選挙管理委員会委員長職務代理者として委員長の職務を代理する責務を担われた。また、平成26年5月から、別府市明るい選挙推進協議会の会長として、市内における明るい選挙の推進に尽力された。
齊藤 孝一 さいとう こういち	平成29年から8年にわたり農業委員会委員を務め、農業者の代表として積極的に別府市の農業振興に尽力するとともに、令和2年7月から現在まで、農業委員会会長職務代理者の要職を務めている。長年の経験を活かし、農業委員会の活動強化と資質向上に尽力し、他の委員の模範として信頼も厚い。また、農業者の高齢化が進む中、担い手不足、耕作放棄地増加に伴う地域農業の衰退を防ぐため、平成25年、地域住民とともに農作業受託組織である「東山パレット株式会社」の立ち上げにも携わり、別府市の農業振興・発展に貢献されている。
星野 賢一 ほしの けんいち	平成29年7月から8年にわたり農業委員会委員を務める。平成10年に「有限会社かぼす本家」を立ち上げ、地域の特産物であるかぼすの6次産業化と地域ブランド化を推進した。生産基盤の整備、担い手育成、観光との連携による交流人口の創出までを一貫して取り組み、つくる・売る・魅せるの3軸で、地域農業の持続性向上及び活性化に寄与した。委員の活動においても、民間企業での経験と認定農業者としての実績を活かし、地域農業の生産性向上と次世代支援に貢献されている。
菅 雅幸 すが まさゆき	平成26年から11年にわたり、別府市固定資産評価審査委員会の委員として職務を執行し、固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服の公平公正な審査に務めており、別府市の行政運営に多大な貢献をされている。
郷司 義明 ごうじ よしあき	平成16年4月1日から平成17年10月31日まで、また、平成27年2月1日から現在に至るまで石垣東三丁目自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努めている。また、平成28年4月1日からは自治委員会境川地区の副支部長として、9町からなる境川地区全体の地域融和に多大な貢献をされている。
加藤 信治 かとう のぶはる	平成25年4月1日から御幸自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努めている。また、平成28年4月1日からは自治委員会朝日地区の副支部長として、13町からなる朝日地区全体の地域融和に多大な貢献をされている。

功労表彰

自治部門（つづき）

きただ けんいち 北田 健一	別府市交通安全指導員に任命されて以来、児童・生徒を交通事故から守るために、登校時に街頭で交通安全指導を献身的に努めている。また、市の公的行事や地域の交通安全指導で要請がある時は、交通混雑がある場所で交通整理を行うなど積極的に取り組み、地域の交通安全の維持に多大な貢献をされている。
とくだ きみこ 徳田 貴美子	平成25年から人権擁護委員として高齢者部会と子ども部会に所属し、園や小・中学校に出向いて人権教室をするなど啓発活動に取り組んでいる。毎月開催される無料人権相談では、様々な悩みを抱える方からの相談を受け、人権問題を解決するための援助を積極的に行っている。また、視覚障がい者のための録音図書の活動も行っている。地域において信頼される人格や見識、中立公正さを兼ね備えており、社会貢献の精神に基づき、熱意をもって活発な人権擁護委員活動を行い、地域福祉の向上に多大な貢献をされている。
り えん 李 燕	平成17年から現在まで、別府市都市計画審議会委員を歴任されている。立命館アジア太平洋大学開学時から在籍され、今日までの経験による優れた識見や高度な専門性を活かして職務を遂行され、本市の都市計画行政に多大な貢献をされている。

公共福祉部門（16名）

（敬称略・順不同）

氏 名	功 績 内 容
つちだ みなこ 土田 美奈子	昭和45年の入会以来長年にわたり、別府地区更生保護女性会の活動や行事、更生保護事業に積極的に関わっており、現在も理事として会の運営に携わっている。また、地域行事活動にも意欲的に取り組み、多大な貢献をされている。
に た の みつまさ 仁田野 三政	平成24年2月14日に法務大臣より保護司に委嘱され、13年にわたり、多くの対象者の更生支援活動に尽力してきた。保護司会としての組織活動では別府保護区保護司会西分区会に所属し、協力雇用主会の副会長を歴任してその責任を果たすとともに、地区の「社会を明るくする運動」等に参加し、啓発活動はもとより防犯・再犯防止活動にも積極的に取り組み、地域の安全安心を見守る活動に貢献されている。
た か じ しんたろう 高司 信太郎	平成23年9月1日に法務大臣より保護司に委嘱され、14年にわたり、多くの対象者の更生支援活動に尽力してきた。保護司会としての組織活動では別府保護区保護司会中央分区会に所属し、地区の「社会を明るくする運動」等に参加し、啓発活動はもとより防犯・再犯防止活動にも積極的に取り組み、地域の安全安心を見守る活動に貢献されている。
た け お とよきち 竹尾 豊吉	平成21年9月1日に法務大臣より保護司に委嘱され、16年にわたり、多くの対象者の更生支援活動に尽力してきた。保護司会としての組織活動では別府保護区保護司会東分区会に所属し、令和6年度まで2年間、大分県保護司会連合会の監査委員を歴任してその責任を果たすとともに、地区の「社会を明るくする運動」等に参加し、啓発活動はもとより防犯・再犯防止活動にも積極的に取り組み、地域の安全安心を見守る活動に貢献されている。

功労表彰

公共福祉部門（つづき）

やだ かずゆき 彌田 和行	平成20年9月10日に法務大臣より保護司に委嘱され、17年にわたり、多くの対象者の更生支援活動に尽力した。保護司会としての組織活動では別府保護区保護司会東分区会に所属し、別府保護区の社会部会長を歴任してその責任を果たすとともに、地区の「社会を明るくする運動」等に参加し、啓発活動はもとより防犯・再犯防止活動にも積極的に取り組み、地域の安全安心を見守る活動に貢献されている。
きべ つよし 木部 毅	平成20年9月10日に法務大臣より保護司に委嘱され、17年にわたり、多くの対象者の更生支援活動に尽力した。保護司会としての組織活動では別府保護区保護司会東分区会に所属し、別府保護区の社会部会長を歴任してその責任を果たすとともに、地区の「社会を明るくする運動」等に参加し、啓発活動はもとより防犯・再犯防止活動にも積極的に取り組み、地域の安全安心を見守る活動に貢献されている。
わさだ はるこ 植田 春子	平成24年に別府市身体障害者相談員設置要綱が施行されて以降、別府市から委託された障害者相談員の任を長年にわたり務められ、別府市の福祉行政へ多大な貢献をされている。
にしむら つとむ 西村 務	平成24年に別府市身体障害者相談員設置要綱が施行されて以降、別府市から委託された障害者相談員の任を長年にわたり務められ、別府市の福祉行政へ多大な貢献をされている。
しょう まゆみ 庄 まゆみ	平成24年に別府市身体障害者相談員設置要綱が施行されて以降、別府市から委託された障害者相談員の任を長年にわたり務められ、別府市の福祉行政へ多大な貢献をされている。
かわの りゅうじ 河野 龍児	平成24年に別府市身体障害者相談員設置要綱が施行されて以降、別府市から委託された障害者相談員の任を長年にわたり務められ、別府市の福祉行政へ多大な貢献をされている。
かとう ゆうじ 加藤 雄二	平成7年に消防団員拝命後、平成21年に班長、平成23年に部長、令和6年に分団長へ昇任し、現在、第9分団の分団長として立場をよく認識し、部下団員をリードするとともに、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、団員相互の融和に意を尽くす傍ら、長年の経験を活かし、知識、技術の向上にあたっている。また、地域の集会や各行事に積極的に参加し、火災予防の啓発に努めるなど地域住民から寄せられる信頼は絶大である。
ながの ひさゆき 永野 久幸	平成7年に消防団員拝命後、平成17年に班長、平成28年に部長、令和元年に副分団長へ昇任し、現在、第12分団の副分団長として分団長を補佐するとともに、部下団員をリードし団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、春（秋）季全国火災予防運動期間中や年末特別警戒時には消防車両を活用し、広報活動を行うとともに、地域の集会や公民館活動に積極的に参加し、火災予防の啓発に努めるなど地域住民から寄せられる信頼は絶大である。

功 労 表 彰

公共福祉部門（つづき）

つる 都留 しんじ 慎治	平成7年に消防団員拝命後、平成20年に班長、令和6年に部長へ昇任し、現在、第3分団の部長として立場をよく理解し、部下団員をリードするとともに、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。本市の南部を管轄としており、飲食店や病院、商店、住宅等が建ち並んでおり、戦前の狭い道幅で火災等の災害危険度が高いため、地域の集会等各行事に積極的に参加し、火災予防の啓発に努めるなど地域住民から寄せられる信頼は絶大である。
みかじり 三ヶ尻 ひろみ 裕己	平成7年に消防団員拝命後、平成24年に班長、令和2年に部長へ昇任し、現在、第8分団2部の部長として立場をよく理解し、部下団員をリードするとともに、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。町内の公民館活動や各種会合等に率先して出席し、地域住民に対して火災予防の重要性を訴えるとともに、自身も春（秋）季全国火災予防運動期間や年末特別警戒時には消防団車両を活用し、管轄区域を巡回し火災予防の啓発に努めるなど地域住民から寄せられる信頼は絶大である。
あんどう 安藤 しゅんすけ 俊助	平成7年に消防団員拝命後、平成19年に班長、令和6年に部長へ昇任し、現在、第3分団の部長として立場をよく理解し、部下団員をリードするとともに、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。本市の南部を管轄としており、飲食店や病院、商店、住宅等が建ち並んでおり、戦前の狭い道幅で火災等の災害危険度が高いため、地域の集会等各行事に積極的に参加し、火災予防の啓発に努めるなど地域住民から寄せられる信頼は絶大である。
しおで 塩出 きよはる 清治	平成7年に消防団員拝命後、平成17年に班長、平成28年に部長、令和6年に副分団長へ昇任し、現在、第1分団の副分団長として分団長を補佐するとともに、部下団員をリードし団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。管内は密集地や高層建物が多く、また、道路が狭く火災等の災害危険度が高いため、春（秋）季全国火災予防運動期間中には部下団員とともに広報活動はもちろん地域の集会等に出席し、火災予防の啓発に努めるなど地域住民から寄せられる信頼は絶大である。

教育・文化・スポーツ部門（6名1団体）

（敬称略・順不同）

氏 名	功 績 内 容
おおつか 大塚 としお 利男	平成25年にアドバイザー、平成28年には指導員の資格を取得し、会員のみならず地域の方々への指導を通じ、パークゴルフの普及活動に努めた。平成24年4月から別府市パークゴルフ愛好会副会長、平成25年3月から別府市パークゴルフ協会副会長、平成28年4月から令和6年8月まで会長を歴任。会長として会員を指導する中で、相互の親睦を第一に考えながら指導を实践され、会長の職責を遂行するなどパークゴルフの普及発展にその手腕を遺憾なく発揮し、別府市パークゴルフ協会の礎を築かれた功績は多大である。
きよはら 清原 けいいち 敬一	昭和47年から教員として県外の高校での勤務と同時に、柔道部の指導者として活動を始め、平成25年から別府市柔道連盟で少年柔道教室の指導者・役員を務めている。大会受賞歴は平成30年5月、令和6年1月、令和7年6月に実施された日本ベテランズ柔道国際大会で3度の個人優勝を成し遂げ、別府市における柔道の発展に対して多大な貢献をされている。
もり 森 まさとし 雅敏	平成20年から別府市剣道連盟の指導者の一人として、玄武館道場にて少年剣士の育成と技術の向上発展のために尽力され、平成27年から別府市剣道連盟理事を務めている。これまで多くの剣士を輩出しており、長年にわたる剣道の普及・発展においての功績は多大である。

功 労 表 彰

教育・文化・スポーツ部門（つづき）

かわの 川野 かずひさ 和寿	11歳から柔道を始め、中学・高校時代に全国大会を経験した。大学卒業後教員となり柔道指導者としての活動を開始。これまで38年間、別府市では23年間、幼・小・中・高校生への指導に携わった。多くの教え子が県優勝を果たし、九州や全国大会で上位成績を収めている。現在、教え子たちは警察官や教員、実業団で競技者として、また指導者として多方面で活躍している。現在も別府市柔道連盟の指導者として活動しており、別府市における柔道の発展に対する功績は多大である。
別府市退職校長会	昭和39年の結成以来、「別府市の教育を語る懇談会」をはじめ、市内小中学校の児童会や生徒会、スポーツや学芸分野等において、成果を収めた児童生徒の顕彰をこれまでに64名、30団体に行ってきた。別府市の学校教育・社会教育への振興に対する功績は多大である。
みやもり 宮森 ともひさ 智久	平成19年から令和5年まで別府市美術協会副会長、平成22年から令和5年まで別府市日本画協会会長、そして平成22年から令和5年まで別府市美術協会日本画部会長を務め、日本画の普及と発展に努めた。また、平成20年1月に『別府市日本画教室』を創設し、誰でも気軽に描けるよう「やさしい」のネーミングで日本画の指導・研鑽にあたるとともに、多くの日本画を医療機関、社会教育施設、学校等に寄贈し、別府市の日本画の発展に対して多大な貢献をされている。
つねまつ 恒松 すみか 栖	平成23年度から別府市文化財保護審議会委員として別府市内の文化財の調査研究に携わっている。平成18年に『別府明礬温泉湯の花製造技術』が、国の重要無形民俗文化財として指定されたことを契機に、明礬温泉湯の花製造技術保存会を立ち上げた際、顧問に就任し、文化財保存の目的にあった活動に携わっている。また、平成27年別府市教育委員会発行の『別府の文化財－伝統産業「湯の花」－』を執筆し、別府市の文化財保護に対し多大な貢献をされている。

市民活動部門（3名）

（敬称略・順不同）

氏 名	功 績 内 容
やまぞえ 山添 ひろし 博司	平成24年春から、地域の子どもへの放課後学習ボランティアを立ち上げ、同年9月からほっぺパークにある西部児童館にて「みんなの寺子屋」を始めた。以降、小学校に場所を移し、「放課後教室」、そして別府発達医療センターの地域貢献の一環として「ほっこり村」へと続き、子どもへの放課後学習ボランティアとして長年活動され、令和7年3月に終了した。学習ボランティアのみならず、水曜日の午後の子どもの放課後の居場所としても役割は大きく、季節ごとの行事、学校との連携等、地域に寄り添った活動をされた。
たはら 田原 やすひこ 康彦	荘園町の自治会長などを40年以上続けられ、地域のまとめ役として活動した。また、七ツ石稲荷神社公園の清掃や防犯パトロールを継続して行い、清潔で安心安全なまちづくりを行っている。そのほか、夏休みのラジオ体操指導を50年以上続け、子どもの健全な育成に対しても寄与されている。清掃活動などのボランティアや子どもの育成、女性の社会進出等に対し、長年にわたり多大な貢献をされている。
はなやま 花山 のりあき 宣昭	平成24年から月1回、朝見神社参道及び神社内の広場の美化活動を行い、また、4か月に1回程度、朝見二丁目の川の雑草刈りやごみの収集などを行っている。また、平成26年から月に数回、朝見地区にてドライバーや自転車通勤者等へ交通安全の声掛けを積極的に行い、市民の模範となり、きれいで安全安心のまちづくりに多大な貢献をされている。